

学 松風平和

令和4年度
那覇市立松島中学校
校便り [No. 2]
令和4年4月12日(火)
発行責任者 校長 喜屋武浩司

「第63期新入生、入学おめでとう！」

去る4月8日(金)に第61回入学式が執り行われました。天気にも恵まれ、校庭の花々が色鮮やかに咲き誇る中、保護者と一緒に新入生が来校しました。体育館前では自分の学級を確認しながら、友達同士で楽しく談笑しているのがとても印象的でした。コロナ禍での入学式は3年目を迎え、新入生の入場などはありませんでしたが、保護者席もほぼ全てが埋まり、新入生の入学を祝う雰囲気が緊張とともに高まっていく様子が肌で感じられました。

生徒会長の山内美空さんからは、「失敗などに臆することなく、本気で物事をやり遂げようと挑戦して下さい。挑戦したことは、結果がどうであれ、中学校生活の『宝』となるはずです。」と新入生を激励してくれました。

新入生代表の椛澤遙斗さんは、「私達は中学生になったことの喜びと不安で胸がいっぱいです。新しいことにチャレンジすることや部活の先輩方と楽しく活動できることなど楽しみにしていることも多くあります。」と述べ、さらに、頑張りたいこととして、「部活動」「勉強」「学校行事」の三つを挙げながら、決意と抱負を力強く発表してくれました。

保護者代表の山本智美様からは、「皆さんはこの松島中学校でたくさんの経験を重ねていきます。自信を持って個性を伸ばしながら、一步ずつ前へ進んで下さい。」と新入生に対して激励の言葉を頂きました。ありがとうございます。

新入生一人一人の輝かしい中学校生活に期待しています。ガンバレ！松中生！



ウクライナ支援へ街頭募金

那覇・松島中生徒19人「自分たちができることを」

【那覇】那覇市立松島中学校の生徒会やボランティア委員会の生徒19人が2日、ウクライナへの人道支援の募金活動を行った。ウクライナの子供たちへの支援に役立てる。ウクライナの高齢者や一般の人々もロシア軍の侵襲に苦しんでいる。自分たちが今できることをしたい」と話した。

多くの寄付に感謝

副委員長の伊波桜子さんは「想定していた以上に多くの人が募金に応じてくれた」と語った。保護者や歌手のうえち雄大さんも生徒と街頭に立った。松島中校区青少年健全育成協議会の坂井浩一会長は「沖縄の子どもたちからウクライナの子供たちへ思いを届ける。平和な世界を築く大切な行動だ」と話した。

ウクライナの子どもたちを支援するための街頭募金活動を行った松島中の生徒や保護者ら2日、那覇市のサンエー那覇メインプレイス前

去る4月2日(土)にメインプレイス入り口三カ所で募金活動に頑張りました。松中生の行動力はすごい！
(琉球新報4月10日付け掲載から)